

【2024 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動学実習	PSF23-001 HSF22-003	(理) 必修 (福.人) 選択	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
大塚 篤也 他	D303	a.otsuka	木曜日 12:30-13:30		
授業の目的・概要	本授業では、運動学 I・II で学んだ身体運動に関する基本知識を土台として、臨床現場において患者の運動障害を分析するための基礎となる生体の仕組みを理解することを目的とする。また、実習を通じて、測定データの解析方法と評価の流れを学び、身体運動学の知識を深めていく。この過程で、論理的思考能力を養うと共に、学んだ知識を理学療法の実践に応用する手法について講義する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	講義では、臨床現場で使用する様々な機器を実際に使用し、測定を行う。運動学 I・II で学習した運動方向および起始・停止・支配神経の内容を復習しておくことが望ましい。				
教科書	・基礎運動学 第6版 補訂/ 著：中村隆一 他/ 医歯薬出版/ 2003 ・動作分析 臨床活用講座—バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践/ 著：石井慎一郎/ メジカルビュー社/ 2013				
参考書	症例動画でわかる理学療法臨床推論 統合と解釈実践テキスト/ 編：豊田輝/ 羊土社/ 2021				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	生体の運動学的・生理学的反応に関する知識を深め、説明できる。			HSU(2)、PT(3)、RH(2)	
②	実習を通じて運動学的計測手法について理解する。			HSU(2)、PT(3)、RH(2)	
③	実習結果を運動学的に分析し、身体運動・動作の特徴や仕組みを理解する。			HSU(2)、PT(3)、(6)、RH(2)	
④	実習結果をまとめることができる。			HSU(2)、(5)、PT(5)、RH(2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	運動学実習の総論について学ぶ。	[担当] 大塚	講義		0
2	運動学実習の総論について学ぶ。	[担当] 大塚	講義		0
3	起居動作を観察し、姿勢、関節運動を理解する。	[担当] 大塚	講義、実習		0
4	起居動作を観察し、姿勢、関節運動を理解する。	[担当] 大塚	講義、実習		0
5	座位、立位姿勢を観察し、姿勢のアライメントを理解する。	[担当] 大塚	講義、実習		0
6	座位、立位姿勢を観察し、姿勢のアライメントを理解する。	[担当] 大塚	講義、実習		0
7	歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、正常歩行を理解する。	[担当] 大塚	講義、実習		0
8	歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、正常歩行を理解する。	[担当] 大塚	講義、実習		0
9	走る・跳ぶ等の応用動作から、姿勢、関節運動を理解する。	[担当] 大塚	講義、実習		0
10	走る・跳ぶ等の応用動作から、姿勢、関節運動を理解する。	[担当] 大塚	講義、実習		0
11	運動学習について学ぶ。	[担当] 大塚	講義、実習		0
12	運動学習について学ぶ。	[担当] 大塚	講義、実習		0
13	重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。	[担当] 関根	講義、実習		0
14	重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。	[担当] 関根	講義、実習		0
15	呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。	[担当] 大塚	講義、実習		0

【2024 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

回	学習内容等		授業の方法	事前事後学習内容・必要時間（時間）			
16	呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 大塚	講義、実習		0	
17	筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する		[担当] 石井	講義、実習		0	
18	筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する		[担当] 石井	講義、実習		0	
19	筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 石井	講義、実習		0	
20	筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 石井	講義、実習		0	
21	体力測定を行い、その結果を基にレポートを作成する。		[担当] 大塚、関根、石井	講義、実習		0	
22	体力測定を行い、その結果を基にレポートを作成する。		[担当] 大塚、関根、石井	講義、実習		0	
23	総括		[担当] 大塚	同時双方向型授業		0	
試	定期試験						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	30	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	30	5	0	0	10	45
	思考・推論・創造する力	10	5	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	10	5	0	0	0	15
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	定期試験を実施し、達成度評価を行う（50%）。		必要に応じて、解説を行う		
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	21、22 回目の講義でレポートを課す。提出されたレポートを採点し、成績に反映する（20%）。なおレポート内容、採点基準は講義時に提示する。		必要に応じて、解説を行う		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						

【2024 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

その他	①		5～8、11、12 回目の授業内で課題を提示し、理解度を問う。提出された課題を採点し、成績に反映する（30%）。採点基準は各実習時に提示する。	必要に応じて、解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	関根 聡美、石井 智也			
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。			
実践的授業の内容	各疾患においてみられる典型的な動作を提示し、障害別の動作や運動の理解を促す。			
そ の 他	<p>実技授業： 必ず測定がしやすい服装で受講し、PC を持参すること。</p> <p>授業時のフィードバック、意見交換：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックは授業時間内で実施する。 ・意見交換の機会は授業時間内およびオフィスアワー内に実施する。 <p>注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生は退室してもらう。 ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は対面授業の参加は認めない。 ・シラバスの内容は、今後の新型コロナウイルス感染症の状況と授業の進行状況等を考慮して一部修正することがある。 ・23 回目の講義は Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 			